

フィラテリストマガジン「全日本切手展 2016 参観ガイド」への参加のお誘い

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社は 2013 年より PDF で読む季刊の郵趣雑誌 The Philatelist Magazine を発行しています。年 4 回の通常号が中心ですが、それに加えて切手展の直前特集等の号外も発行しています。

全日展につきましては、昨年、一昨年と、出品者による展示作品に関する投稿を主体とした記事を企画し、のべ 60 作品について出品者の皆様からご寄稿を頂き、毎年 100 ページ以上の大冊を発行しております。参観者はもちろん残念ながら参観できなかった方からもたいへんな好評を博しました。

本年も同企画を実施致しますので、ご出品者の皆様にご参加頂きたく存じます。

企画名 : 私の作品の注目ポイント!

掲載媒体 : The Philatelist Magazine 号外<全日本切手展 2016 参観ガイド>

発行日 : 2016/7/15

発行部数 : 約 600 部

原稿〆切 : 郵便の場合 : 2016/7/7 到着分まで

メールの場合 : 2016/7/10 到着分まで

送付先 : 郵便の場合 : 102-0083 海事ビル内郵便局留置 吉田敬

メールの場合 : tpm@stampedia.net

※ メール連絡される方の内、画像を郵送したい方は、2015/7/7 までに到着するように海事ビル内郵便局留置宛てにお送りください。

※ ご郵送頂いた原稿、コピーについては原則として返却しません。

企画 <私の作品の注目ポイント！> について

競争展で出品者は目録に一作品あたり 200 文字程度のテキストとリーフ写真を掲載することができます。しかし目録は公式なものであり原則としてフォーマルな文章が期待される上に、文字量も少ないため、中々言いたい内容を余すことなく書くのは難しいことだと思います。

しかしもっと長文で、かつ本音ベースで書いて良いのであれば、

- 「実は今回の作品はこのマテリアルに注目して欲しいのだ。何故ならこのマテリアルはジャパンのセールですごく競って予想外の出費を強いられてようやく入手したものだからだ」とか、
- 「これとこれとこのマテリアルは是非見逃さずに見て欲しい。(カラー写真付き)」とか、
- 「そもそも本コレクションは自分のサブコレクションであり、こんな考えで集めていてこれからこうやって集めて行きたい」等々

面白いエピソードが作品の数だけつまっていると思います。

私どもは、皆さんのこのような本音ベースの想いを全日展開催の一週間前に号外として発行する事により、当初全日展に参観予定のなかった方々が一人でも多く参観しようと翻意してくれる事を期待すると共に、参観予定の方がより深く展示を楽しむ事のお手伝いできればと考えております。

お送り頂きたいもの

(1) 文章 (テキスト)

作品参観に役立つならば内容は自由です。昨年のアンケートによれば、当該出品作品を見るにあたり事前知識として持ってもらいたい内容や、展示マテリアルの中で是非見てもらいたい物の紹介やリーフ作成に関するノウハウの開示などが好評のようでした。

ページ数は、昨年の例では少ない方で1ページ、多い方で9ページを割り当てました。ページ数に制限のないPDF雑誌ですが冗長にならない様、編集についてはお任せ下さい。

(2) リーフ画像もしくは郵趣マテリアル画像

カラーコピーによるご郵送、もしくは 200DPI によるスキャン画像を添付ファイルとしてメールでお送りください。

一記事において、リーフ画像全体を原寸近くで掲載できるのは1～2ページになりますので、リーフ画像の中に大きく表示したいものがある場合は、わかるようにしてください。